

プライベートについて

プライバシーとは

- ・「自分のこと」を自分の意思に反して他人に知られたくないということ。
- ・客観的な範囲があるのではなく、本人がプライバシーであると思うことがプライバシーなのであり、他人が判断することではない。

プライバシーを守るために
注意すること

アンケートでの注意

- ・プライバシーを入手する目的でデータを集めるものがある。
- ・顧客情報を入手して販売戦略に立てるのに利用しているものでもそこから情報が漏れたりすることもある。

アンケートでの注意

- ・「プライバシーマーク」や「個人情報保護マーク」をつけてるサイトがある。
- ・「プライバシーポリシー」が掲げてあるサイトがある。これは、送ったデータをどのような目的に使い、どのように管理するのかを示している。
- ・どこを探しても、メールアドレスだけで住所や電話番号がないサイトは危険。
- ・信用のあるサイトであっても、提供する情報は必要最小限に絞る。
- ・不審に思うような項目は入力するべきではない。たとえプライバシーポリシーを掲げていても信用してはいけない。

掲示板・チャット・メーリングリストでの注意

- ・電子掲示板やチャットでは、ハンドル名（仮名）を使うことが通常。本名を出すとかは避けた方が無難。なるべく本人が特定できるような名前は避ける。
- ・女子大生と名乗っていても実は違う人だったということがある。相手に気を許さないことが大事。
- ・掲示板やメーリングリストでプライバシーを暴かれたりすることがある。主宰者に抗議して掲示板の内容を削除させたり、メーリングのときには加害者をリストから外させるようにする。

ホームページでの注意

- ・自分でホームページを作っている人はここからプライバシーが漏れたり、公表していることが多い。
- ・ホームページなどでは、問い合わせ先としてメールアドレスを記載する場合がある。公開しているメールアドレスには、大量の迷惑メールが送られることがある。

ホームページでの注意

- ・ 不要な情報はできるだけ掲げないのが安全。
- ・ 公開用のメールアドレスには、普段利用しているメールアドレスとは別の専用のアドレスを用意する。プログラムに検知される確率を少なくするため、メールアドレスを画像ファイルとして表示する。

他人のプライバシーを守るために注意すること

- ・ 案外気づかないで情報を漏らしていることが多い。
- ・ 特にSNSの場合、写真などの投稿により、友人のプライバシー情報を公開することがある。名前が出ていなくても友人は自分の写真が使われたくないと思っているかもしれない。

他人のプライバシーを守るために注意すること

- ・他人のことには触れないのが安全。
- ・情報を記載する場合には、事前に許可を取る。

まとめ

- ・必要な情報なのかを考えて情報を記載したり、本当に安全なのか注意する。インターネットはたくさんの人が見るので常に注意することが大事。
- ・自分のプライバシーを守るだけでなく他人のプライバシーを守ることが大事。